

# 令和3年度事業計画

## 1 令和3年度事業の基本方針について

本協会の目的である「県物産」の紹介、宣伝、あっせん等による販路の拡大を行うとともに、品質の向上と新商品の開発を推進し、県産業の振興を図っていくこととする。このため、コロナ禍ではあるが、定款で定める次の3事業を展開する。

### ●定款に定める3事業の展開

#### ◆物産展等開催事業

県内外で開催する各種物産展等での本県物産の展示即売を行い、認知度の向上を図るとともに、ウェブサイト（ECサイト）の活用についても検討していく。

#### ◆情報収集・提供事業

市場ニーズや動向を踏まえた県物産の掘り起こしや情報発信を行うとともに、県外から著名なバイヤーを招聘し、商談会や意見交換会を開催する。

#### ◆即売事業

「おいでませ山口館」を核とした首都圏での県物産の魅力・認知度の向上を図り、需要の喚起や販路の拡大を推進するとともに、県物産の情報発信を行う。

## 2 令和3年度事業の概要について

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により物産展や催事が中止や規模を縮小しての実施となり、十分な対応ができなかった。本年度もコロナ禍の終息は見通せないが、状況を十分把握しながら、可能な限り実施に向け取り組んでいく。

### (1) 物産展等開催事業

県内外で山口県単独または隣接県等と共同で物産展を開催し、物産品を展示即売して認知度の向上や販路拡大を図る。

#### ア 県内外イベント等への出展（別掲実施計画参照）

##### ① 県外イベント

###### ○山口県の観光と物産展（仮）

4月21日（水）～27日（火） 鳥取大丸

###### ○東京の産業等の魅力発信イベント（仮称）

7月28日（水）～30日（土） 東京スポーツスクエア

###### ○山口県味覚の旅

9月上旬～中旬及び2月予定 高島屋京都店 地下催事

###### ○山口県観光物産フェア 金山総合駅（名古屋市）

10月予定 名古屋市

## ② 県内イベント等

- やまぐち地産・地消フェア 6月17日～20日 フジグラン宇部
- 秋のやまぐち地産・地消フェア 10月7日～11日 フジグラン宇部
- きららカップ 2月 きらら博記念公園水泳プール
- 生協まつり 3月下旬 きらら博記念公園

## イ 農林水産関係機関との連携

農林水産関係機関との連携は従来から実施しており、物産展、地産・地消フェア、商談会等多岐に渡る。また、「おいでませ山口館」での農水産物等の販売も含め、連携をより深めていく。新商品開発等についても連携を強化し、海外に向けた販路拡大への取組を図る。

- 物産展等における幅広い農林水産物の品揃え
- 6次・農商工連携の新たな商材の発掘・販売

## ウ ウェブサイト活用の検討

ウェブサイト（ECサイト）の活用は、新たなPR・販売手段であり、コロナ禍で、その役割は増しており、コロナ終息後もその役割は変わらないものと考えられる。

本協会においては、令和2年度に助成金を受け、ECサイトを活用して県物産（酒類を含む。）の割引キャンペーンを実施した。

今年度は、助成金による割引キャンペーンの予定はないものの、県物産を県内外へ販売・PRできる有効な手段であることからECサイトの運用を含めウェブサイトの活用について検討をしていく。

## （2）情報収集・提供事業

物産・観光展等の各種行事や県・関係団体と連携した情報発信会などに物産品を出品・展示し、宣伝・PRを実施する。

市場が求める商品のニーズを把握するとともに、地元市町や物産事業者（オールやまぐち！県産品売り込み会議）等と綿密な関係を構築することにより、本県物産の掘り起こしを行い、需要拡大につなげる。

## ア 商談会等

県産品の魅力向上業務として、高質スーパー関係バイヤーによる講習会や商談会を検討する。

## イ ホームページやカタログによる山口県産品の紹介

ホームページやカタログ等により県産品の紹介を行うとともに、関係団体が開催するビジネスフェア中四国2022等に参加し、情報収集、提供に努める。

### (3) 即売事業（おいでませ山口館）

県の首都圏でのアンテナショップであり、かつ、本協会の即売事業の拠点でもある「おいでませ山口館」は、新型コロナウイルス感染拡大防止により令和2年4月・5月の2か月間、休館を余儀なくされ、その後の販売も落ち込む状況が続いたが、11月からの割引商品券の導入により、販売を盛り返すことができた。割引商品券が終わった後も、引き続き販売力を高めていくことが重要であることから、人的体制を強化し、マーケティング的な視点に立って、更なる運営手法、事業内容の見直し・改善を行い、機能強化を図っていく。

運営面については、店舗レイアウトや取扱商品、仕入方法の見直しを一層行うこととし、主力商品については令和2年度から買い取り移行を行っているが、引き続き継続していくこととする。

これらの実施により、より一層の効率的な運営と魅力的な売り場づくりを進め、発信力と販売力を高めていく。

また、関係機関・団体との連携を深めることで、観光や移住も含めた幅広い情報の受発信機能を高め、集客の拡大を図っていく。

事業面については、農林水産関係団体や地域商社やまぐち(株)等との連携強化や、百貨店、高質スーパーなどへの宣伝活動、流通事業者への売込みを行うとともに、市場の動向・ニーズを地元事業者へ情報提供し、販路拡大や売れる商品づくりにつなげていく。

#### 「おいでませ山口館」の来館者数等の実績

- 令和2・元年度・平成30年度 2月末現在の来館者数及び売上額  
(単位：来館者数 人 売上額 千円)

令和2年度		令和元年度		平成30年度	
来館者数	売上額	来館者数	売上額	来館者数	売上額
150,773	162,160	249,503	122,636	260,579	134,157

- 令和2年度 来館者数・売上額の前年度・前々年度対比（2月末現在）  
(単位：%)

令和元年度対比		平成30年度対比	
来館者数	売上額	来館者数	売上額
60.4	132.2	57.9	120.9

### 3 協会会員の加入促進

定款に定める協会の活動の目的を達成するためには、現会員の物産を紹介し販路拡大を図ることはもちろんであるが、新たな会員の加入に努め、商材の発掘や開発を一層促進する必要がある。

物産展への出展や「おいでませ山口館」への販売を契機に、会員加入の一層の促進を図っていく。

#### 【会員数の推移】

令和3年3月10日現在

年度	菓子	水産	農産	民芸	その他	特別会員	合計
24	47	81	85	24	5	20	262
25	48	82	90	24	5	20	269
26	51	87	94	23	8	20	283
27	56	90	101	24	8	20	299
28	61	96	107	24	8	21	317
29	62	91	114	27	12	21	327
30	59	90	116	28	12	21	326
元	56	89	112	29	13	21	320
2	49	83	101	23	11	21	288